

平成 21 年度 上半期

水道事業業務状況書

自 平成 21 年 4 月 1 日

至 平成 21 年 9 月 30 日

江 津 市 水 道 課

水道事業業務状況書

(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項の規定により、江津市水道事業に関する平成21年度上半期の業務の状況を次のとおり公表します。

1. 事業の概況

(1) 業務に関する事項

前年同期と比べた当期の給水状況は、以下のとおりである。

平均給水戸数は、市全体で80戸（0.8%）減の9,935戸だった。

給水量については、営業用で8,730^m（7.2%）の減、工場用で2,420^m（7.5%）の減、他の用途も軒並み減少となり、全体で35,052^m（3.3%）減少した。

業 務 量

事 項	平成21年度 年間予定 A	当期実績 B	予定との 対比 B/A	前年同期 実 績 C	前年同期実績との対比	
					増減 B-C	増減率%
平均給水戸数（戸）	10,030	9,935	99.05%	10,015	△ 80	△ 0.8
総給水量（ ^m ）	2,144,600	1,041,694	48.57%	1,076,746	△ 35,052	△ 3.3
一日平均 給水量（ ^m ）	5,876	5,755	97.94%	5,949	△ 194	△ 3.3

(2) 工事等に関する事項

当期において発注した主な工事は以下のとおりである。（金額は契約額）

- 長瀬地区配水管布設工事 18,375,000円
- 松平簡易水道配水管布設替（2-1工区）工事 47,775,000円
- 松平簡易水道配水管布設替（2-2工区）工事 31,395,000円
- 飯田西・恵良地区配水管布設（1-1、1-2工区）工事 30,870,000円
- 飯田西・恵良地区配水管布設（1-2工区）工事 12,862,500円

2. 経理の状況

(1) 収益的収支予算及び資本的収支予算の執行状況

① 当期間中の収益的収入の状況

(単位：千円)

区分	平成21年度			前年同期 執行額	前年同期比較	
	9月補正後の 予算額	当期執行額	予算対比 %		増減額	増減率 %
営業収益	462,478	226,574	49.0	231,887	△ 5,313	△ 2.3
うち給水収益	460,848	226,191	49.1	231,455	△ 5,264	△ 2.3
簡易水道 営業収益	87,709	41,515	47.3	44,323	△ 2,808	△ 6.3
うち給水収益	87,146	41,451	47.6	44,000	△ 2,549	△ 5.8
営業外収益	58,637	7,868	13.4	24,836	△ 16,968	△ 68.3
特別利益	0	7	皆増	0	7	皆増
計	608,824	275,964	45.3	301,046	△ 25,082	△ 8.3

② 当期間中の収益的支出の状況

(単位：千円)

区分	平成21年度			前年同期 執行額	前年同期比較	
	9月補正後の 予算額	当期執行額	予算対比 %		増減額	増減率 %
営業費用	428,501	183,821	42.9	179,224	4,597	2.6
うち受水費	260,574	110,713	42.5	99,368	11,345	11.4
簡易水道 営業費用	93,945	38,534	41.0	51,496	△ 12,962	△ 25.2
うち受水費	46,741	19,928	42.6	30,709	△ 10,781	△ 35.1
営業外費用	40,780	20,364	49.9	20,881	△ 517	△ 2.5
簡易水道 営業外費用	15,564	7,442	47.8	7,950	△ 508	△ 6.4
特別損失	1	0	0.0	0	0	0.0
予備費	3,000	0	0.0	0	0	0.0
計	581,791	250,161	43.0	259,551	△ 9,390	△ 3.6

③ 当期間中の資本的収入の状況

(単位：千円)

区分	平成21年度			前年同期 執行額	前年同期比較	
	9月補正後の 予算額	当期執行額	予算対比 %		増減額	増減率 %
負担金	53,010	0	0.0	0	0	0.0
国庫補助金	79,579	0	0.0	0	0	0.0
他会計補助金	29,194	0	0.0	5,382	△ 5,382	△ 100.0
企業債	212,000	0	0.0	0	0	0.0
出資金	28,100	0	0.0	0	0	0.0
計	401,883	0	0.0	5,382	△ 5,382	△ 100.0

④ 当期間中の資本的支出の状況

(単位：千円)

区分	平成21年度			前年同期 執行額	前年同期比較	
	9月補正後の 予算額	当期執行額	予算対比 %		増減額	増減率 %
建設改良費	420,120	13,482	3.2	44,070	△ 30,588	△ 69.4
企業債償還金	98,167	54,626	55.6	48,333	6,293	13.0
他会計借入金 償還金	0	0	—	49,724	△ 49,724	△ 100.0
計	518,287	68,108	13.1	142,127	△ 74,019	△ 52.1

(2) 貸借対照表の概要

(単位：千円)

勘定科目	当期末残高	前期末残高	当期増減額	前年同期末残高	前年同期末比較		
					増減額	増減率%	
資産	固定資産	5,656,122	5,689,388	△ 33,266	5,461,371	194,751	3.6
	流動資産	417,973	598,162	△ 180,189	411,345	6,628	1.6
	資産計	6,074,095	6,287,550	△ 213,455	5,872,716	201,379	3.4
負債	固定負債	11,545	12,446	△ 901	12,446	△ 901	△ 7.2
	流動負債	13,922	191,481	△ 177,559	14,159	△ 237	△ 1.7
	負債計	25,467	203,927	△ 178,460	26,605	△ 1,138	△ 4.3
資本	資本金	3,054,959	3,109,586	△ 54,627	2,956,841	98,118	3.3
	剰余金	2,993,669	2,974,037	19,632	2,889,270	104,399	3.6
	資本計	6,048,628	6,083,623	△ 34,995	5,846,111	202,517	3.5
負債・資本合計	6,074,095	6,287,550	△ 213,455	5,872,716	201,379	3.4	

(3) 損益計算書の概要

(単位：千円)

勘定科目	当期末残高	前年同期末残高	前年同期比較		
			増減額	増減率 %	
収益	営業収益	215,803	220,863	△ 5,060	△ 2.3
	簡易水道営業収益	39,541	42,228	△ 2,687	△ 6.4
	営業外収益	7,543	24,551	△ 17,008	△ 69.3
	特別利益	7	0	7	皆増
	収益計	262,894	287,642	△ 24,748	△ 8.6
費用	営業費用	178,015	173,816	4,199	2.4
	簡易水道営業費用	37,432	49,840	△ 12,408	△ 24.9
	営業外費用	20,373	20,880	△ 507	△ 2.4
	簡易水道営業外費用	7,442	7,949	△ 507	△ 6.4
	特別損失	0	0	0	0.0
費用計	243,262	252,485	△ 9,223	△ 3.7	
当期純利益 (△ 純損失)	19,632	35,157	△ 15,525	△ 44.2	

3. 平成20年度決算の状況

(1) 事業及び経営状況の概況

本市の水道事業は、主に島根県の江の川水道用水供給事業からの受水に依存しているが、島根県との契約水量17,500m³/日に対し、当年度の一日平均実受水量約6,895m³は、契約水量に対して約39.4%に留まっている一方で、経常費用のうち受水費の占める割合が50%を超え、大きな負担となっている。このことから、平成15年度より江の川水道料金平準化措置を講じていただき、平成23年度までの受水費負担の軽減を図ることが出来た。また、平成22年度以降の受水単価の決定方法のあり方について、県企業局、受水団体である本市及び大田市により「水道事業に関する総合的検討会」を当年度に立ち上げ、3回にわたって協議した。

生活基盤近代化事業として、松平簡易水道拡張事業を実施し、当年度は管路の実施設計並びに配水池築造工事、配水管布設工事を行い、上河戸地区に給水を開始した。また、江津市水道未普及地域解消事業実施計画に基づく事業に着手し、当年度は、二宮町地内の宮の谷・神村地区及び飯田西・恵良地区を対象とした管路及び配水池の実施設計並びに配水管布設工事を行い、宮の谷・神村地区に給水を開始した。

有収率の向上対策としては、上水道地区において石綿セメント管更新事業（延長596.5m）及び漏水調査を行った。当年度の有収率は、上水道地域83.93%、簡易水道地域82.76%、全体では対前年度比1.78ポイント減の83.75%であった。

給水量の動向については、上水道地区は前年度比約1.0%減、簡易水道地区は約1.7%減で水道事業全体では前年度比約1.1%、23,184m³減の2,127,670m³であった。

経営成績については、営業収益の大半を占める給水収益が前年度比1.27%、665万6,853円（税抜き）減少した一方で、営業費用は、人件費の抑制を図ったものの、公共事業等に伴う固定資産の除却費が大幅に増加したことなどから全体として3.14%増加し、営業損失を生んだ。しかし、営業外収益が加入分担金の増等により増加、営業外費用が公的資金繰上償還の効果による支払利息の減により減少となり、経常損益ではプラスとなり、208万1,114円の純利益を生じた。

以上のように営業の柱である給水収益は人口の減少、景気回復の遅れや節水型機器等の普及により年々減少しており、今後もこのような動向が予想される中、厳しい経営環境が続くものと推測されるので、さらに経営の効率化や有収率の向上を図るとともに、安定給水及び市民福祉の向上のため経営の健全化に努める必要がある。

業 務 量

事 項	平成20年度	平成19年度	前年度の対比		
			増減	増減率%	
年度末給水戸数(戸)	9,806	9,885	△79	△0.8	
年度末給水人口(人)	21,917	22,259	△342	△1.5	
計画給水人口(人)	23,730	24,108	△378	△1.6	
普及率(%)	92.36	92.33	0.03	—	
配水量	年間(m ³)	2,540,582	2,514,852	25,730	1.0
	一日平均(m ³)	6,960	6,871	89	1.3
給水量	年間(m ³)	2,127,670	2,150,854	△23,184	△1.1
	一日平均(m ³)	5,829	5,877	△48	△0.8
一日最大配水量(m ³)	7,795	8,883	△1,088	△12.2	
有収率(%)	83.75	85.53	△1.78	—	

(2) 収益的収支及び資本的収支の決算概要

①収益的収入

(単位：円)

区 分	平成20年度	平成19年度	比 較	
			増 減	増減率%
営 業 収 益	461,312,124	465,973,307	△ 4,661,183	△ 1.0
簡 易 水 道 営 業 収 益	83,667,631	85,988,624	△ 2,320,993	△ 2.7
営 業 外 収 益	64,605,833	56,265,807	8,340,026	14.8
特 別 利 益	0	0	0	—
計	609,585,588	608,227,738	1,357,850	0.2

②収益の支出

(単位：円)

区 分	平成20年度	平成19年度	比 較	
			増 減	増減率%
営 業 費 用	435,694,123	401,527,913	34,166,210	8.5
簡 易 水 道 営 業 費 用	102,291,845	120,208,900	△ 17,917,055	△ 14.9
営 業 外 費 用	42,778,506	49,866,727	△ 7,088,221	△ 14.2
簡 易 水 道 営 業 外 費 用	15,741,628	15,041,057	700,571	4.7
特 別 損 失	0	0	0	0.0
計	596,506,102	586,644,597	9,861,505	1.7

③資本的収入

(単位：円)

区 分	平成20年度	平成19年度	比 較	
			増 減	増減率%
負 担 金	44,260,037	27,317,548	16,942,489	62.0
国 庫 補 助 金	84,076,000	51,380,000	32,696,000	63.6
他 会 計 補 助 金	21,666,000	36,145,000	△ 14,479,000	△ 40.1
企 業 債	232,700,000	269,900,000	△ 37,200,000	△ 13.8
他 会 計 借 入 金	0	49,724,000	△ 49,724,000	△ 100.0
出 資 金	28,000,000	14,000,000	14,000,000	100.0
計	410,702,037	448,466,548	△ 37,764,511	△ 8.4

④資本的支出

(単位：円)

区 分	平成20年度	平成19年度	比 較	
			増 減	増減率%
建 設 改 良 費	372,647,572	308,546,611	64,100,961	20.8
企 業 債 償 還 金	156,289,105	188,713,496	△ 32,424,391	△ 17.2
他 会 計 借 入 金 償 還 金	49,724,000	57,115,000	△ 7,391,000	△ 12.9
計	578,660,677	554,375,107	24,285,570	4.4

(3) 貸借対照表及び損益計算書の概要

①貸借対照表

(単位：千円)

勘定科目		平成20年度末 残高	平成19年度末 残高	前年度末残高との対比	
				増減額	増減率 %
資産	固定資産	5,689,388	5,458,440	230,948	4.2
	流動資産	598,162	626,812	△ 28,650	△ 4.6
	資産計	6,287,550	6,085,252	202,298	3.3
負債	固定負債	12,446	12,676	△ 230	△ 1.8
	流動負債	191,481	176,150	15,331	8.7
	負債計	203,927	188,826	15,101	8.0
資本	資本金	3,109,586	3,054,298	55,288	1.8
	剰余金	2,974,037	2,842,128	131,909	4.6
	資本計	6,083,623	5,896,426	187,197	3.2
負債・資本合計		6,287,550	6,085,252	202,298	3.3

②損益計算書

(単位：千円)

勘定科目		平成20年度末 残高	平成19年度末 残高	前年度末残高との対比	
				増減額	増減率 %
営業収益	営業収益	439,394	443,841	△ 4,447	△ 1.0
	簡易水道営業収益	79,706	81,901	△ 2,195	△ 2.7
	小計	519,100	525,742	△ 6,642	△ 1.3
営業費用	営業費用	421,257	389,088	32,169	8.3
	簡易水道営業費用	99,810	116,128	△ 16,318	△ 14.1
	小計	521,067	505,216	15,851	3.1
営業損益		△ 1,967	20,526	△ 22,493	△ 109.6
営業外収益	営業外収益	64,169	55,946	8,223	14.7
	営業外費用	44,379	49,551	△ 5,172	△ 10.4
	簡易水道営業外費用	15,742	15,040	702	4.7
	小計	60,121	64,591	△ 4,470	△ 6.9
営業外損益		4,048	△ 8,645	12,693	△ 146.8
経常損益		2,081	11,881	△ 9,800	△ 82.5
特別利益		0	0	0	—
特別損失		0	0	0	—
当期純損益		2,081	11,881	△ 9,800	△ 82.5
前年度繰越利益剰余金		111,588	100,306	11,282	11.2
当年度末処分利益剰余金		113,669	112,187	1,482	1.3